

広報第68号



SUNSHINE-VILLA
第2サンシャインビラ

第68号
社会福祉法人
福陽会
第2サンシャインビル
東京都福生市福生
3244-10
TEL 042-553-3701
編集 広報委員会

4月28日 観桜会



おいしい〜♡



職員も演芸・
模擬店で
一緒に楽しむ





施設行事 復活への挑戦

二階 生活相談員

島田 正晃

以前、私が広報に掲載した文では、“新型コロナウイルス感染症が早く収束することを願います。”と締めくくっていたのですが…。現在そんな気配はあるような？ ないような？ 安心できるような状況にはまだなっていない。

第2サンシャインビラでは季節を感じて頂けるように、これまで施設行事を開催してきました。新年会、観桜会、納涼祭、文化祭、日帰りドライブ（いつもより長距離で食事を兼ねたドライブ）、敬老会、クリスマス会等々。それらに加え同法人内の交流会、福生市の地域行事（福祉祭り等行事）への参加など。そういった行事関係が全く出来なくなってしまうと経ちました。

そんな中、少しでも利用者様に楽しんで頂ける時間を作れないかとの思いから、小規模ながら、施設行事の復活を試みました。昨年の七月の納涼祭（盆踊り大会）に始まり、十月には文化祭（利用者様、職

員の作品展示）、今年の四月には観桜会を開催することが出来ました。ご家族様への案内が出来なかったのが残念です。

会場は五階にあるホールを使用し、感染防止対策の為、デイスービス、三フロアの利用者様を時間制の入れ替え方式とし、計4回の繰り返しで実施しました。短時間でしたが、模擬店の焼きそば、焼き鳥、アイスクリームなどを食べながら、職員の歌や踊りの演芸を楽しんで頂けたのでは？ と思っております。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症との付き合いは続くのでしょうか。感染防止対策の徹底を行いながら、利用者様に楽しく生活して頂けるよう努めてまいります。





ボタンは押すために あるんです！

三階 介護リーダー
栗原 和久

昨年、急にフラフラした母が自らタクシーを呼び、病院で脳梗塞の診断、入院を勧められるも『猫がいるから』と薬をもらい、幸い後遺症もなく済んだことがあります。

やはり一人暮らしは心配なので、警備会社の見守りサポートに申し込むことにしました。緊急時ボタン一つで警備員がかけつけるサービスです。問題は、母が必要時躊躇なくボタンを押せるのか？遠慮深い母は、ペットボトルを隣のスーパードで買うので『それこそ今利用中の生協に頼めば』に『重いから悪い』、宅配寿司を頼む時も『雨の中悪い』といった具合。設置時担当者に『迷わず押して』と何度も念を押してもらいました。勿論、押すような事態にならない方がいいのですが、さて、フロアでは私が駆けつけサービスマン。コールがあればいつでもすぐかけつけます。どうぞご安心下さい。



小さなことからコツコツと

三階 介護職員
岡田 広子

何度も春が過ぎ時間の経つのが早く感じるこの頃、この仕事について考えてみるがありました。それは、利用者様とのコミュニケーションを大切にするとということです。

対話の中にこそ、その方の性格や歴史を知ることができ、次の話題作りにもなります。新型コロナウイルスの影響もあり、外出等疎遠になっていいる中、個別に楽しめる事も考えていきたいです。ぬり絵をしたり、しり取りゲームを数名で行ったり、レクリエーションの制作にも参加して頂き、おしゃべりをしながら楽しんで頂く事なども試みています。どんな事に興味をもたれているのか、これからも気かけながら、利用者様の小さな声も聞き取り、キャッチしていきたいと思えます。よろしくお願い致します。



『感謝』



四階介護リーダー
村上 将貴

今年の二月に体調不良で二週間ほど仕事を休む事になり、仕事に穴を開けてしまいました。本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

体調も良くなり、久しぶりの仕事で少し早めに出勤したところ、利用者様から『大丈夫?』と声を掛けて頂きました。自分の担当している利用者様に挨拶した際も同じように『大丈夫?会いたかったよ』などの声を掛けて頂きました。申し訳ない気持ちと感謝の気持ちが入り交ざり声が出ませんでした。フロアの職員の方々からも心配して下さる声が聞かれました。

利用者様の笑顔と職員皆様の笑顔に気持ちが救われ『感謝』という言葉の想いで胸が圧倒されそうになりました。今後感謝の気持ちを忘れず、利用者様の笑顔の為頑張つて行きたいと思えます。



たくさんの笑顔



四階 介護職員
佐藤 貴美

私の祖母は同じ福陽会の第3サンシャインビラに入所していました。当時私は、病院で介護士として働いていました。面会に行く度に各教室で作った器や絵などの作品を、嬉しそうに見せて楽しんでる様子を感じ、病院と違う介護の在り方に興味を持ちました。

その後、第2サンシャインビラに入職しました。コロナ禍で以前のようなイベント、外出行事等出来ない状態で全体的に明るさが無くなった様に感じた事もありました。その中でも少しでも利用者様の笑顔を引き出せるよう、フロア内できき氷、お好み焼きなどのイベントを行い、楽しんで頂けるよう頑張つて来ました。

コロナ禍から二年が経ち規制も少しずつ緩和されつつある状況のようです。これからも利用者様が楽しく歩む人生のお手伝いをさせて頂けたら、と思つていきます。かつて祖母が、たくさんの笑顔にさせてもらった様に、私も多くの笑顔を持つて頂けるよう頑張つていきます。



禍を転じて福と為す

医務室リーダー

橋口 里子

「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」 川端康成の小説『雪国』の冒頭です。暗闇から出た瞬間に白銀の世界に変わり感動と驚き・・・

今年の一月、二月は全国的に豪雪による災害が相次ぎ、被害にあわれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。少し前の話になりますが、ZEM スペシャル里山で「新潟の棚田豪雪と生きる」が放送されました。一年の半分は雪との生活も、待ちにまった春の訪れと共に雪解けが進み、棚田を潤し稲作には最も必要な豊富な水へと雪は変わり、秋にはおいしいお米が出来上がります。

実は、雪（災害）が後々にお米（福）に転じる事となるのです。

コロナ禍生活（災い）となり二年。放送の最後に流れた「災い転じて福となす」一日でも早くこのような日が来ることを願ってやみません。



さあ 一緒に
イチニッサン
声を出しながら
もう一度！
イチニッサン



「リハビリ体操」

二階 介護職員

奥平 幸子

桜の花から新緑の五月となり、さわやかな季節になりました。今、私は利用者様のリハビリ体操に取り組んでいます。最近 YouTube の体操の掛け声に合わせて、利用者様を励ましながら体操を盛り上げています。複雑な動きに真剣なまなざしで体を動かされ、集中している姿にとっても感動しました。

筋力を維持することはとても重要な事ですが、一人ではなかなか続けることが出来ません。今日の若さを持続出来るよう、笑顔で楽しく体を動かせるよう、利用者様が一緒にリハビリ体操を続けられるように手助けして行きたいと思っています。

体操の後はお食事量も増えたように思われます。利用者様がお元気に生活されるよう、レクリエーションに取り組んでいきたいと思えます。宜しくお願い致します。





デイサービス



魚つりゲーム



皆さん ステキな絵が描けました



少しずつ クラブ活動を再開しています



日々精進



厨房スタッフ 扇谷 達男

第2サンシャインピラに入職し一年と半年が過ぎました。入職前はバーテンダーとして二十年以上飲食店に従事させて頂いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け飲食店のサービスを限界を感じ、二人の子供の将来を見据え、転職を決意しました。

四十歳を過ぎての転職に不安もありましたが、やさしい先輩方のご指導のおかげで、一人で調理から下膳まで当番をさせて頂くまでにいたりりました。

ペースト食や極細食、療養食といった今まで経験した事の無い調理に悪戦苦闘の毎日ですが、利用者様に『美味しかったよ!!』とお声を掛けて頂くこともあります。本当に嬉しく、何よりの励みとなっています。

今後も日々精進し、利用者様に喜んで頂けるよう努めて参りたいと思います。これからも宜しくお願い致します。



段ボールベット
(福生市合同研修会)



手洗いチェック
(施設内研修)



3/7 利用者調査



編集後記

そろそろ梅雨入りの頃となりました。日本は四季の他に梅雨の季節も。梅雨というと何だかうつとうしいといったイメージが多いようですが、植物にとつては有難い雨でもあるようです。花や木の葉の緑が一段と鮮やかに見え、いっそう美しさを感じるのではないのでしょうか。

一つの事象でも見方を変えれば、思いがけない発見があると思います。通り一遍の支援ではなく、工夫しながらより良いものを提供していきたいと思えます。

これからもご愛読
宜しくお願
致します。

(室賀)



社会福祉法人
福陽会
特別養護老人ホーム
第2サンシャインピラ
〒197-0011
東京都福生市福生
3244-10
TEL 042-553-3701
FAX 042-553-3715
<http://www.fukuyokai.or.jp>